

令和3年度 高田中学校 学校評価アンケートについて

12月に実施された「学校評価アンケート」につきまして、ご協力いただき誠にありがとうございました。その結果をご報告させていただきます。アンケート結果については1「そう思う」+2「だいたいそう思う」のプラス評価が7割を超えたものについてはおおむね達成したものととらえ、また、3「あまりそう思わない」+4「そう思わない」が2割を超えたものを特に課題のある面ととらえました。

- 併設型小中学校の取組の一環として、今年度も高田中ブロック（高田中・高田小・高田東小）で共通の質問項目を設け、学校評価を実施しました。そのうち、今年度は設問2「協力する素晴らしさを感じている」については、肯定的な回答の割合が、生徒・保護者・教職員でどれも9割を超えています。経年で比較すると、昨年度の8割以上からより増えており、本校の教育活動が引き続き成果を上げていることがうかがえます。

一方設問3「小中連携」については、昨年度より生徒についてはプラス回答の割合が増えているものの、依然肯定的な回答の割合が低くなっています。これは、今年度においても感染症対策で実際の交流が減ってしまっている影響が出ていると思います。

また設問1「進んで学ぶ姿勢」については、昨年度は生徒自身のプラス回答の割合のみ増えていましたが、今年度は生徒・保護者ともにプラス回答の割合が増加しています。理由として、コロナ禍における様々な活動の制限の中、オンラインやICTを活用した授業などを通じた在宅における学習の取組の充実が考えられます。また、部活動においても以前より活動の頻度や時間は短くなっていますが、その中でより合理的な取組が行われ、一定の評価を受けていると考えられます。

- 設問4「生き生きと学校生活を送っていますか」、設問5「生命を尊重し、心身の健康維持、向上に努めていますか」、設問8「相手を思いやる気持ちが高まっていますか」についても、生徒・保護者・教職員ともに8割を超え、今年度は生徒・保護者ともにすべての項目で昨年度よりプラス回答の割合が増加しています。人権・道徳の指導の成果が現れていると思います。

- 設問9「進路指導」については、今年度の保護者のプラス回答が昨年度より微減しています。コロナ禍の活動等の制限も考えられますが、今後はより緊密で丁寧な指導を心がけていきたいと思っています。

- 設問10「学校の決まりを守っていますか」の回答は、今年度も生徒・保護者・教職員ともにプラス回答が9割を超えるという結果になりました。日々の職員・生徒・家庭の連携を今後とも継続していけるようにしていきたいと思えます。

- 設問14「分かりやすい授業」、設問17「地域とよく連携していますか」について、今年度は保護者のプラス回答の割合が昨年度より増加しているものの、6割程度と低いものでした。設問14については今年度初めてのオンライン授業について、準備の不足や不慣れな場面も考えられます。設問17についてはコロナ禍による活動の制限が影響していると考えられます。ともに今後に向けた活動の改善に取り組んでいきたいと思えます。

- 設問15「行事の充実」、設問18「ICTを活用した学び」については、昨年度は保護者のプラス回答が7割を切り、課題としていましたが今年度はともに7割を超えています。前述の通りコロナ禍における様々な活動の制限の中、オンラインやICTを活用した授業や行事の中継動画等の配信など、学校全体での取組の成果が見られたように感じます。

- 設問19「高田中ではコロナ禍において安心して学べるための工夫をしていますか。」について、今年度は生徒のプラス回答の割合が昨年度より大きく増加し、9割以上になりました。設問4、12、13との関わりもありますが、コロナ禍でも多くの生徒にとって、学校が安心して生き生きと活動できる場所であったと感じてもらえていることはとても良かったと思えます。